

山岳消防力強化で地域を守る 山林火災訓練を実施

令和7年2月に発生した、岩手県大船渡市の山林火災など全国各地で山林火災が多く発生しています。

本市でも本年3月2日に大きな被害はありませんでしたが、二ノ塔付近で小規模の山林火災が発生しています。

表丹沢の玄関口である本市は、市域の52パーセントが森林であり、特に山林火災対策が必要な地域です。

これまで林道を活用した山林火災訓練やはだのクリーンセンター南側斜面地において、ホース延長や放水訓練を行っていましたが、市民や登山客、地域住民などを守るため、本市消防職員も派遣した、大船渡市への緊急消防援助隊神奈川県大隊での経験も生かし、より実践的に山地深くでの訓練を実施します。

1 日 時 4月30日（水） 午前10時～午後1時

2 場 所 ミズヒ大滝 （鍋割山稜コース 二俣から徒歩30分）

3 内 容

ミズヒ大滝付近を拠点とし、ドローンを活用した現場での情報収集をはじめ、水槽の設置などの水源拠点形成訓練や、可搬ポンプ2台での中継・ホース延長訓練、背負い式消防水のうやスコップを使用した登山訓練などを実施します。



滝上流部へポンプを25メートル引き揚げ

4 参加部隊

消防署警備第一課

本署（指揮第一担当、消防第一担当、救助第一担当）、西分署（西第一担当）30人（今後変更する可能性があります）

問い合わせ

消防署消防管理課 電話0463（81）7991